



◆矢の原湿原 昭和村の東に位置し、11ha・1周約30分、高層・低層の2つで形成されており、約8万年前にできたといわれる日本で2番目に古い湿原。280種の多彩な植物と珍しいハッチョウトンボの生息地として福島県自然環境保全地域に指定されている。



◆冷湖の霊泉 青々と苔むした岩の間から落ちてくる、細く白い滝のような流れの清冽な清水。昔むかし、このあたりの住民が日照りの水不足で困っていたところ、名主の夢枕に御神楽岳の天狗が現れて、水のお告げをしたという天狗伝説が残る。

周囲を山でかこまれた昭和村には、四季それぞれに色があります。春は水色。雪解けの季節をむかえて活発になってくる生き物たちの生命活動。その命をささえる水は、昭和村の天然の財産。村の各地には湿原や溪谷・池のほか、その土地に暮らす住民が疲れをいやす飲料用水、あるいは生活用水がふんだんにあります。

夏は緑。山々の向こうに力強く沸き上がってくる入道雲を遙

自然との共存 昭和の色

●自然を愛し自然と共に暮らす人々。

かにのぞみながら、ぐんぐんと成長し、丈を伸ばしていくからむしの緑は、生命のすばらしさを教えてくれます。

夕暮れはあつという間に陽を傾ける秋。錦に彩られた山に投げかける金の光は映えて、学校帰りの子供たちも、みんな光の中に。

白・白・白。冬が訪れた昭和の里はこの一色に埋め尽くされます。来る日も来る日も雪に閉ざされる日が続くこともありませんが、この白が本当は暖かいことを、村人たちは知っているのです。

東にはブナ原生林を懐に、会津盆地を眺望できる標高1482メートルの博士山が、村の南には国指定の天然記念物の「駒止湿原」があり、四季折々の珍しい植物が見られるなど、自然に彩られた豊かな村なのです。



◆綱木溪谷 村のメインルート・国道400号に沿って流れる野尻川は太公望の訪れる釣りのメッカ。四季の彩り美しい綱木溪谷は村の北端にあり、奇岩怪石がそびえたつ景勝地だ。

◆御前ヶ岳 名前の由来にちなむ、伝説の山。平安時代末期、政争に敗れた後白河天皇の第二皇子・高倉宮以仁王が都よりこの山を通って落ち延びたおり、親王を慕って後を追った妃の紅梅御前が、しばしこの地に滞在したといわれている。

